

作成日 2020.10.13

「パークベンチ体位の褥瘡予防対策の有効性に関する後ろ向き看護研究」
に対するご協力をお願い

研究責任者名：関西電力病院 中央手術室 越場由貴

〈対象となる方〉

関西電力病院で2015年9月から2020年5月までに脳外科で開頭手術をパークベンチ体位で受けられた患者さま

〈意義・目的〉

全身麻酔の手術を受けられる患者さまは長時間動くことが出来ず、同じ姿勢となるため褥瘡（床ずれ）が出来る可能性があります。手術室では負担のかかる姿勢になっていないかを確認しながら手術中の患者さまが安全で安楽な姿勢となるように努めています。

手術の内容によっては、日常生活であまり行わない姿勢をとることがあり、その中でもパークベンチ体位は皮膚障害が起きやすい体勢です。患者さまの負担が最小限となるよう対策を講じ、現在では褥瘡の発生はなく経過しています。その対策の有効性を明らかにするため、本研究に取り組もうと思いました。このことを検討された研究は存在しません。よって、本研究の実施には意義があるものと考えられます。

〈方法〉

本研究は、診療録（カルテ）を利用して研究を行います。臨床データは以下を使わせて頂き、それぞれの関連を検討させていただきます。個人の特定可能な情報は解析に用いません。

（使用する臨床データ）

年齢、性別、BMI、麻酔時間、体位固定時間、体位作成状況、出血量、体温変動状況等

これらのデータは院内発表または学会、論文として発表させて頂く可能性があります。

〈個人情報の保護について〉

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりする等のご迷惑をおかけすることはありませんので、ご安心下さい。研究に臨床データや資料を提供したくない場合はお申し出いただいても不利益が生ずることはありません。患者さまからのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにしますので、次の連絡先まで申し出て下さい。

〈問い合わせ〉

〒553-0003 大阪市福島区福島2-1-7

関西電力病院 中央手術室 越場 由貴 TEL 06-6458-5821

〈研究機関〉

関西電力病院 中央手術室